

東芝の再建に期待する

2017年4月11日

一般社団法人 日本原子力産業協会
理事長 高橋 明男

本日、株式会社東芝が、2016年度第3四半期決算を発表した。

東芝は原子力事業をはじめ、日本を代表する総合メーカーとして、我が国の経済発展や技術力進歩に大きく貢献してきた。

国内42基の原子力発電プラントのうち、13基は東芝製BWRである。それらのプラントの保守管理や新規規制基準対応に加え、福島第一原子力発電所の廃炉作業等、東芝が果たす役割は大きい。過日示された再生への取り組みに則り、財務基盤を強化した上で、是非とも新生東芝としてしっかりと役割を果たしていただけるよう期待したい。

以上